**新型コロナウイルスワクチン接種情報**

問い合わせ 健康推進課新型コロナウイルスワクチン接種対策チーム　電話23-5311

　対象者には「新型コロナウイルスワクチンの予診票」を順次郵送しますので、届いた人から予約をしてください。また、5歳から15歳までの接種対象者は、保護者の同意と同伴が必要です。会場が密集しないよう、同伴する保護者は1人までとなります。

**5歳から11歳までの小児用ワクチン接種について**

　小児用ワクチンを接種する場合は、3週間の期間をおいて2回接種する必要があります。予約をする際は、必ずクール単位で予約してください。

　5歳から11歳まで対象の「新型コロナウイルスワクチンの予診票」が届いた人で、1回目接種の時点で12歳に到達している人は小児用ワクチンを接種できませんので、12歳以上を対象とした接種会場を予約してください。

　「新型コロナウイルスワクチンの予診票」については、そのまま使用できます。

▶小児用ワクチン集団接種日程

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| クール | 1回目接種日 | 2回目接種日 | 受付時間 | 接種会場 |
| 1 | 5月15日（日曜日） | 6月5日（日曜日） | 9：30～16：15 | 大崎市民病院 |
| 2 | 5月21日（土曜日） | 6月11日（土曜日） |
| 3 | 5月22日（日曜日） | 6月12日（日曜日） |
| 4 | 5月28日（土曜日） | 6月18日（土曜日） |
| 5 | 5月29日（日曜日） | 6月19日（日曜日） |

▶使用ワクチン　ファイザー社製（小児用）

▶持参するもの　❶新型コロナウイルスワクチン接種の予診票❷予防接種済証用紙❸健康保険証などの本人確認書類❹母子健康手帳やお薬手帳（持っている人のみ）

**注意！他の予防接種との間隔について**

　小児用ワクチンと他のワクチンとの接種間隔は、13日以上空ける必要があります。

　なお、他の定期予防接種については、接種期限を過ぎると任意接種となり、接種する場合は自己負担となります。

　定期予防接種の期限に注意してください。

**▼インターネット予約**

予約サイト　https://is.gd/teNEJ6

**▼ 電話受付**

予約受付センター（☎0120-091-088）

受付時間：平日9時～17時

**12歳から17歳までのワクチン接種（3回目）について**

　新型コロナウイルスワクチンの3回目の接種について、厚生労働省は接種が可能な年齢を、18歳以上から12歳以上に拡大する方針としました。

　市では、12歳から17歳までの2回目接種完了から6カ月以上経過している人に「新型コロナウイルスワクチンの予診票」を順次発送しますので、届いた人から事前に予約をして接種してください。

　12歳以上で1回目の接種を受けていない人や、18歳以上の人で、3回目の接種をしていない人についても、同じ日程で接種ができます。

▶12歳から17歳までのワクチン接種日程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 日　程 | 受付時間 | 接種会場 |
| 5月2日（月曜日） | 9：30～15：45 | 古川保健福祉プラザ（ｆプラザ） |
| 5月6日（金曜日） |
| 5月30日（月曜日） |
| 5月31日（火曜日） |
| 6月23日（木曜日） |

▶使用ワクチン　ファイザー社製

▶持参するもの　❶新型コロナウイルスワクチン接種の予診票❷予防接種済証用紙❸健康保険証などの本人確認書類❹母子健康手帳やお薬手帳（持っている人のみ）

**「人財」としての職員を目指して**

～令和5年4月1日採用市職員募集～

－「人財」として目指す職員の姿とは－

市民とともに創造・実現できる職員

信頼される職員

課題解決に向け、自ら政策提言できる職員

　令和4年4月1日、35人の新規採用職員が市長から大崎市職員の辞令を受けました。

　新規採用職員は、4月1日、2日の研修で、大崎市職員として必要な知識を習得し、円滑に事務を遂行し、細やかな住民サービスを提供することができる職員となるための資質を学びました。

　近年、市を取り巻く環境は、人口減少と少子高齢化の進行や頻発する自然災害、市民ニーズの多様化および情報化の発展、さらには世界的に流行した新型コロナウイルス感染症の影響から、厳しい状況が続いています。

　そのような中、総合計画に掲げる大崎市の将来像「宝の都（くに）・大崎～ずっとおおさき・いつかはおおさき～」を実現するため、職員一人一人の成長が期待されます。

写真：辞令交付式で、服務に関する宣誓をする、新規採用職員の代表者

写真：現在の市役所庁舎（写真右）は、令和5年5月供用開始予定の新庁舎（写真左）に生まれ変わります。